

## 平成21年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成21年2月10日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 シダー  
 コード番号 2435 URL <http://www.cedar-web.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山崎 嘉忠  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 松尾 剛  
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

TEL 093-513-7855

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成21年3月期第3四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	5,229	20.1	96	—	74	—	35	—
20年3月期第3四半期	4,353	32.4	△2	—	△9	—	△11	—

  

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	6.27	—
20年3月期第3四半期	△2.07	—

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	6,588	901	13.7	157.17
20年3月期	5,286	865	16.4	150.90

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 901百万円 20年3月期 865百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,120	20.2	110	94.7	90	109.3	45	185.5	7.98

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
 (注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの  
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 無  
 (注) 詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)  
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 5,738,000株 20年3月期 5,738,000株  
 ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 一株 20年3月期 一株  
 ③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年3月期第3四半期 5,738,000株 20年3月期第3四半期 5,738,000株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他の特記事項

1. 本資料に記載しております業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。  
 2. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期会計期間におけるわが国経済は、アメリカ発の世界的な金融危機の影響による実体経済の減速が顕著となり、原油価格や原材料価格の高騰等は一段落したものの、企業収益や設備投資、個人消費は下降線を辿り、多くの業種で企業業績の下方修正や非正規雇用の人員整理が相次ぎ、景気の先行きは、いっそう厳しさを増す状況になりました。

介護サービス業界では、増加の一途をたどる失業者の雇用の受け皿としての役割を果たすべく、官・民が連携して求職者の受け入れを推進しております。しかしながら、依然として都市部における介護従事者の人材不足問題は解消されておらず、労働条件の改善や有資格者の育成等、多くの課題を抱える厳しい状況の中、推移いたしました。

このような状況のもと当社は、収益面ではデイサービス事業において施設稼働率を上昇させるため、新規利用者の獲得とサービスの向上に努めました。また、施設サービス事業では、平成20年10月と11月に有料老人ホーム2施設とグループホーム1施設を新規開設し、積極的な営業活動を展開してまいりました。一方、利益面では、人員配置や業務手順の見直し等、効率的な運営に取り組むことで利益率の改善に注力してまいりました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は5,229,679千円となり、営業利益は96,820千円、経常利益は74,727千円、四半期純利益は35,991千円となりました。

### 2. 財政状態に関する定性的情報

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ200,337千円増加し529,288千円となりました。また、当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間における営業活動の結果、獲得した資金は、106,947千円となりました。その主な内訳は、収入要因として、税引前四半期純利益の増加74,563千円、減価償却費166,849千円、支出要因として、賞与引当金の減少71,635千円、売上債権の増加額139,446千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間における投資活動の結果、支出した資金は、1,072,829千円となりました。その主な内訳は、支出要因として、有形固定資産の取得による支出1,125,114千円、差入保証金の差入による支出98,052千円、敷金の差入による支出45,077千円、収入要因として、差入保証金の回収による収入98,252千円、預り保証金の受入による収入75,965千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間における財務活動の結果、獲得した資金は、1,166,219千円となりました。その主な収入要因は、短期借入金の増加900,000千円、長期借入金の増加1,200,000千円、支出要因として、短期借入金の返済による支出530,000千円、長期借入金の返済による支出403,737千円であります。

### 3. 業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の業績予想につきましては、現時点では変更はございません。

### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によりしております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

5. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	529,288	328,950
売掛金	1,207,888	1,068,441
前払費用	71,399	59,229
繰延税金資産	157,785	91,080
その他	1,503	738
貸倒引当金	△9,594	△6,140
流動資産合計	1,958,271	1,542,300
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,925,846	1,133,691
土地	1,288,356	1,027,417
その他（純額）	173,500	250,860
有形固定資産合計	3,387,703	2,411,970
無形固定資産	20,656	17,994
投資その他の資産		
投資有価証券	92,496	93,801
長期前払費用	108,309	101,387
敷金及び保証金	928,426	966,628
繰延税金資産	52,305	150,601
その他	40,349	2,270
投資その他の資産合計	1,221,887	1,314,689
固定資産合計	4,630,247	3,744,654
資産合計	6,588,518	5,286,954

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	132,184	103,615
短期借入金	1,640,000	1,270,000
1年内返済予定の長期借入金	584,928	513,284
未払金	95,400	48,160
未払費用	129,876	113,914
未払法人税等	12,700	18,976
賞与引当金	35,226	106,861
その他	64,609	27,504
流動負債合計	2,694,924	2,202,316
固定負債		
長期借入金	2,673,158	1,948,539
退職給付引当金	129,533	121,182
長期預り保証金	189,058	149,063
固定負債合計	2,991,749	2,218,784
負債合計	5,686,673	4,421,100
純資産の部		
株主資本		
資本金	432,280	432,280
資本剰余金	308,030	308,030
利益剰余金	161,534	125,543
株主資本合計	901,844	865,853
純資産合計	901,844	865,853
負債純資産合計	6,588,518	5,286,954

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	5,229,679
売上原価	4,812,295
売上総利益	417,383
販売費及び一般管理費	320,562
営業利益	96,820
営業外収益	
受取利息	5,323
雑収入	11,746
営業外収益合計	17,069
営業外費用	
支払利息	35,620
雑損失	3,542
営業外費用合計	39,163
経常利益	74,727
特別損失	
固定資産除却損	163
特別損失合計	163
税引前四半期純利益	74,563
法人税、住民税及び事業税	6,981
法人税等調整額	31,591
法人税等合計	38,572
四半期純利益	35,991

(第3四半期会計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	1,809,308
売上原価	1,673,879
売上総利益	135,429
販売費及び一般管理費	101,641
営業利益	33,787
営業外収益	
受取利息	1,848
雑収入	4,142
営業外収益合計	5,991
営業外費用	
支払利息	13,425
雑損失	134
営業外費用合計	13,559
経常利益	26,219
特別損失	
固定資産除却損	163
特別損失合計	163
税引前四半期純利益	26,056
法人税、住民税及び事業税	2,421
法人税等調整額	11,191
法人税等合計	13,612
四半期純利益	12,443

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第3四半期累計期間  
 (自 平成20年4月1日  
 至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	74,563
減価償却費	166,849
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3,453
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△71,635
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	8,351
受取利息及び受取配当金	△5,323
支払利息	35,620
投資事業組合運用損益 (△は益)	1,305
有形固定資産除却損	163
売上債権の増減額 (△は増加)	△139,446
仕入債務の増減額 (△は減少)	28,568
その他	47,058
小計	149,529
利息及び配当金の受取額	300
利息の支払額	△34,965
法人税等の支払額	△7,916
営業活動によるキャッシュ・フロー	106,947
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△1,125,114
無形固定資産の取得による支出	△5,441
差入保証金の差入による支出	△98,052
差入保証金の回収による収入	98,252
敷金の差入による支出	△45,077
敷金の回収による収入	64,109
預り保証金の返還による支出	△37,470
預り保証金の受入による収入	75,965
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,072,829
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	900,000
短期借入金の返済による支出	△530,000
長期借入れによる収入	1,200,000
長期借入金の返済による支出	△403,737
配当金の支払額	△43
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,166,219
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	200,337
現金及び現金同等物の期首残高	328,950
現金及び現金同等物の四半期末残高	529,288

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期損益計算書

前第3四半期累計期間(平成19年4月1日～12月31日)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金額(千円)
I 売上高	4,353,085
II 売上原価	4,090,901
売上総利益	262,184
III 販売費及び一般管理費	264,766
営業損失(△)	△2,582
IV 営業外収益	28,681
V 営業外費用	35,681
経常損失(△)	△9,581
VI 特別損失	175
税引前四半期純損失(△)	△9,757
税金費用	2,116
四半期純損失(△)	△11,873

## (2) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

前第3四半期累計期間(平成19年4月1日～12月31日)

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
区分	金額(千円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前当期損失(△)	△9,757
減価償却費	99,346
貸倒引当金の増加額	3,329
賞与引当金の減少額	△76,190
退職給付引当金の増加額	5,959
受取利息	△5,693
投資事業組合評価損	1,302
支払利息	29,959
固定資産除却損	175
売上債権の増加額	△200,178
仕入債務の減少額	13,055
その他	44,577
小計	△94,114
利息の受取額	378
利息の支払額	△29,063
法人税等の支払額	△3,782
法人税等の還付額	71,852
営業活動によるキャッシュ・フロー	△54,730
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△322,343
有形固定資産の売却による収入	1,771
無形固定資産の取得による支出	△3,033
敷金等の支払による支出	△163,859
敷金等の返還による収入	28,200
預り保証金の返還による支出	△30,136
預り保証金の預かりによる収入	71,847
投資活動によるキャッシュ・フロー	△417,553

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
区分	金額(千円)
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	920,000
短期借入金の返済による支出	△312,000
長期借入れによる収入	200,000
長期借入金の返済による支出	△316,554
配当金の支払による支出	△16
財務活動によるキャッシュ・フロー	491,429
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	—
V 現金及び現金同等物の増加額(又は減少額)	19,145
VI 現金及び現金同等物の期首残高	427,227
VII 現金及び現金同等物の期末残高	446,372

6. その他の情報

該当事項はありません。